



Argyle™ Fukuroi トロッカー アスピレーション キット

Argyle™ Fukuroi アスピレーション セルジンガー キット

スムーズな穿刺・ドレナージ

Argyle™ Fukuroi Trocar Aspiration Kit

操作性に優れた胸腔／腹腔穿刺・ドレナージ

鋭利な内套針により、安全性を高めよりスムーズにカテーテルを留置することができます。

2個の逆止弁からなるアスピレーションバルブにより、注射筒の簡単な操作で積極吸引・排液を連続的に行うことができ、緊急時にもすばやく適切な対応が可能です。

便利な付属品

皮膚切開用のスカルペルやドレープ、固定具などがキット化されており、準備の手間を軽減します。

緊急時に対応できる排液キット

延長チューブ・アスピレーションバルブ・排液チューブがあらかじめ接続されているため接続の手間が省け、緊急時等にもすばやく対応する事が可能です。

内套針付カテーテル

鋭利な内套針

スムーズにカテーテルを留置する事ができます。

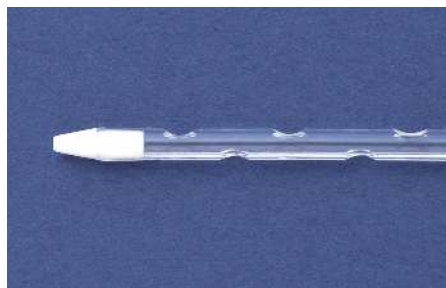


接続しやすい排液チューブ

バブル部をカットする事で様々な接続径に対応可能です。

Argyle™ Fukuroi
Trocar Aspiration Kit
Aspiration Seldinger Kit

胸腔・腹腔・心嚢*で、
穿刺・ドレナージの安全性を
高める工夫



適度なコシのある ポリウレタン製カテーテル

柔軟で耐キンク性に優れると共に、適度な強度があり内腔を広く確保する事で効率の良い排気・排液を可能にします。



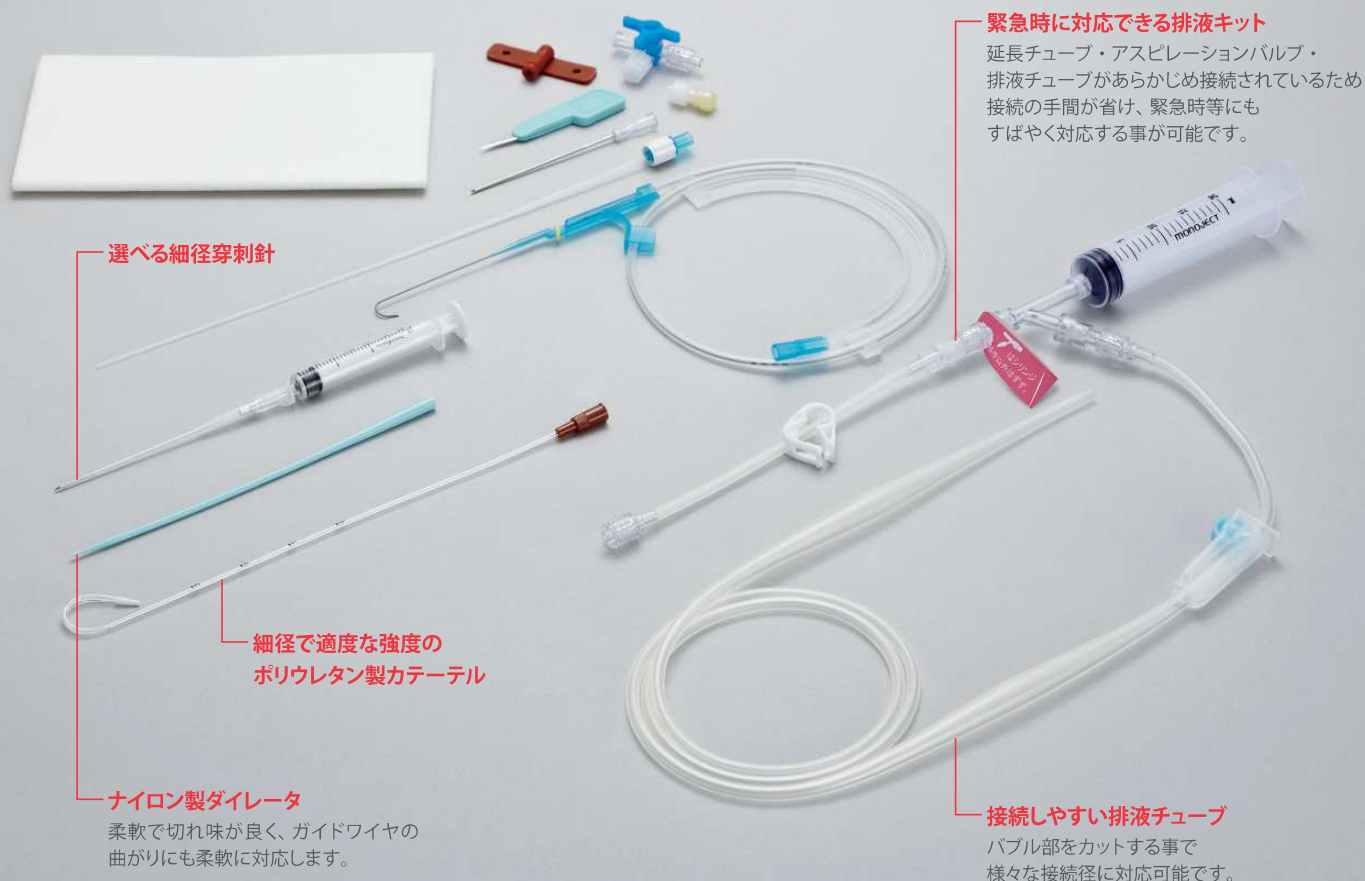
アスピレーションバルブ

2個の逆止弁がついており、注射筒でのポンピング操作で排気・排液を簡単に効率よく行う事が可能です。

*Trocar Aspiration Kitは心嚢穿刺には
ご使用いただけません。

操作性に優れた心嚢穿刺・ドレナージ

18Gの注射筒付プラスチックカニューラ針、切れ味の良いダイレータ、先端ソフトチップのカテーテル及びコシのあるスタイレットを採用し、より安全でスムーズなカテーテル留置が可能です。



心嚢で 穿刺・ドレナージの 安全性を高める工夫



吸着のリスクを低減する ピッグテイルタイプ

ピッグテイルタイプは側孔がループの内側にあるため、組織吸着のリスクを低減します。



選べる穿刺針

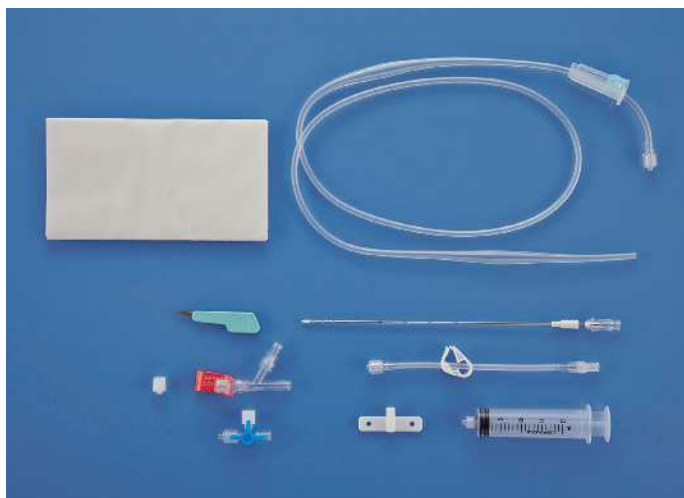
17Gのセルジンガー針（金属針）と18Gのプラスチックカニューラ針から手技に応じて選択する事が可能です。



フレキシブルな ガイドワイヤ

心嚢内をスムーズに先端し、より安全にカテーテルを留置する事が可能です。

Argyle™ Fukuroi Trocar Aspiration Kit



5620-0620

カタログ番号	カテーテル		穿刺針外径 (mm)		カラーコード
	外径 (mm)	長さ (cm)	先端	シャフト	
5620-0609	2.3 (6Fr)	9	0.64	1.07	ホワイト
5620-0620		20			
5620-0809	2.9 (8Fr)	9	1.25	1.65	ブラウン
5620-0820		20			
5620-1220	4.2 (12Fr)	20	1.65	2.41	イエロー

包装：1キット毎滅菌済 プリスターパック入り 10キット/箱 材質：医療用ポリウレタン 再使用禁止

製品規格

一般的名称：滅菌済み体内留置排液用チューブ及びカテーテル
販売名：トロッカー アスピレーション キット
医療機器承認番号：16200BZZ01117000
クラス分類：II 管理医療機器

Argyle™ Fukuroi Aspiration Seldinger Kit



5630-820P

カタログ番号	カテーテル		ガイドワイヤ サイズ (mm)	カテーテル 先端形状
	外径 (mm)	長さ (cm)		
5630-530	1.5 (5Fr)	30	0.89 (0.035インチ)	ストレート
5630-820	2.7 (8Fr)	20		ストレート
5630-820P				ビッグテイル

包装：1キット毎滅菌済 プリスターパック入り 2キット/箱 材質：医療用ポリウレタン 再使用禁止

製品規格

一般的名称：心膜排液用カテーテル
販売名：アスピレーション セルジンガー キット
医療機器承認番号：21200BZZ00302000
クラス分類：II 管理医療機器

ご使用の際は、必ず製品の添付文書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止
2. 再滅菌禁止
3. 低圧持続吸引あるいは自然排液(排気を含む)移行時には、アスピレーションバルブを使用しないこと。
[アスピレーションバルブを接続して使用すると、バルブ内の逆止弁閉塞による吸引異常により緊張性気胸が発生するおそれがあるため。]
4. カテーテル、接続部位あるいは穿刺挿入部位の消毒等に、アルコール含有薬剤もしくは脱脂目的のアセトン等の有機溶剤を使用しないこと。
[薬剤との接触で強度が低下し、亀裂あるいはひび割れ等が生ずるおそれがあるため。]
5. 縫合糸でカテーテルを直接固定しないこと。
[カテーテルに引張力が加わった場合に破断するおそれがあるため、カテーテルの固定は、セットの固定翼を使用すること。]


CardinalHealth™

cardinalhealth.jp

製品情報・
FAQサイトは
こちら



お問い合わせ先
カーディナルヘルス株式会社
TEL 0120-917-205